

渇水時における水稻の栽培管理について

本年は、降水量が少なく水不足が深刻化していることから、6月16日9時より利根川及び鬼怒川で10%の取水制限が実施されています。現段階では水稻の生育に大きな影響はありませんが、万が一の用水不足に備え、渇水対策の準備に取り掛かってください。

◇◆渇水に備えた今後の栽培管理◆◇

- ・畦畔のモグラ穴など漏水箇所を点検し、漏水防止に努めます。
- ・ほ場全体に効率よく用水が行き届くよう、中干し時に溝切りをしておきます。
- ・用水を大量に必要とするかけ流しは極力控えます。

◇◆今後の見通し(気象庁発表資料より)◆◇

(1)最近1週間の天候経過(6月16日～22日)

この期間の気温は高く、降水量は少なく、日照時間は多くなりました。

(2)今後の見通し

気象庁の1ヶ月予報によると、6月25日から7月24日の関東甲信地方の降水量については「平年並か多い」となっており、「特に注意を要する事項」として、期間のはじめは少雨の状態が続くところがある見込みとなっています(平成28年6月23日発表)。

◇◆用水の生育ステージ別必要度◆◇

水稻の生育期間には水を必要とする時期とあまり必要としない時期があります。生育ステージ別に見た用水の必要度は表1のとおりです。

表1 水稻の生育ステージ別に見た用水の必要度

生育ステージ	稲の生育	用水の必要度	用水不足の影響
活着期	田植え～10日頃	☆☆☆	活着不良, 除草剤の効果低減
有効分げつ期	活着～田植え後35日頃	☆☆	分げつ不足, 除草剤の効果低減
無効分げつ期	田植え後35日～幼穂形成期(中干し期)	☆	最も乾燥に強い
幼穂形成期	出穂前25日～15日頃	☆☆☆	一穂粒数の減少
穂ばらみ期	出穂前15日～出穂始め	☆☆☆	花粉の形成阻害
出穂開花期	出穂始め～穂揃い期	☆☆☆	開花, 受精阻害による不稔
登熟前期	出穂後20日頃	☆☆	粒の充実不良(長さ, 幅, 厚みの低下)
登熟後期	出穂後20日～成熟期前7日頃	☆	デンプンの充実不良(白未熟粒の発生)

用水の必要度 ☆☆☆:最も必要, ☆☆:必要, ☆あまり必要でない